

MENA 国別基本情報 2021



STUDY in JAPAN

Study in Japan Global Network Project in Middle East & North Africa

J-MENA





モロッコ

チュニジア

アルジェリア

リビア

エジプト

イスラエル・パレスチナ

レバノン

ヨルダン

トルコ

シリア

イラク

サウジアラビア

イラン

アフガニスタン

クウェート

バーレーン

カタール

アラブ首長国連邦

オマーン

イエメン

事業概要

中東・北アフリカ地域において、優秀な外国人留学生の獲得を促進するため、リクルーティングから帰国後のフォローアップまで一貫したALL JAPANの留学サポート体制の実現に向けて活動を実施している。

事業実施に際し、日本および対象国の関係者での意見交換の場として、J-MENA (Japan-Middle East and North Africa) プラットフォームを構築している。

事業期間

2018年度～2022年度

主な取組

- (1) 日本留学に関する情報収集・発信
- (2) 優秀な留学生獲得に向けたリクルーティング活動
- (3) 帰国留学生会とのネットワーク構築および広報・リクルーティングにおける協力深化、および日本における就職の魅力発信



現状と今後の取組

中東・北アフリカ地域の現状

- ・人口増加率は約1.8%。24歳以下の若年層が人口に占める割合は、約47%(2016年)。
- ・日本語学習者はアジアやヨーロッパに比べ少数。日本留学試験(EJU)も実施されていない。
- ・日本留学の情報が不足、「留学には日本語習得が必要」「生活費が高い」という誤解がある。
- ・富裕層が通学する都市部の私立学校の多くは、英語による中等教育を実施しており、欧米への留学が多い。
- ・現地でのMEXT奨学金の競争率は高い。しかし各国で政府派遣奨学金を用意している。

今後の取組

国内協力大学向け情報の収集・発信

- ・対象地域および留学生に関する情報収集と分析
- ・日本留学ニーズの収集と分析
- ・ホームページ・SNSを通じた情報発信

リクルーティング支援

- ・留学フェアの開催
- ・マッチング支援: 日本の大学が現地の高校などを訪問する機会を提供
- ・入学試験支援: 日本の大学が現地で行う入学試験の実施協力

留学生／卒業生との連携強化

- ・留学希望者に対する留学体験報告
- ・留学フェアでの出身大学のブース対応など

実施体制

 **アンカラオフィス**
(トルコ)

- ・留学フェアの企画・実施
- ・域内の大学、高校への働きかけ
- ・帰国留学生との連携強化

 **カイロオフィス**
(エジプト)

- ・留学フェアの企画・実施
- ・域内の大学、高校への働きかけ
- ・帰国留学生との連携強化



J-MENAオフィス

- ・留学フェア企画・実施
- ・ホームページやSNSによる情報発信
- ・国内連絡会議の企画・実施

国内連絡会議

国内の協力大学／機関
(2021年3月15日現在)

協力機関

- ・在京大使館
- ・在外日本国大使館
- ・日本学生支援機構(JASSO)
- ・国際協力機構(JICA)
- ・国際交流基金(JF)
- ・日本貿易振興機構(JETRO)

協力大学 21大学

- ・福岡女子大学
- ・立命館アジア太平洋大学
- ・新潟大学
- ・鳥取大学
- ・広島大学
- ・会津大学
- ・東北大学
- ・芝浦工業大学
- ・筑波大学
- ・東海大学
- ・東京大学
- ・東京外国語大学
- ・東京海洋大学
- ・東京藝術大学
- ・東京工業大学
- ・早稲田大学
- ・大阪大学
- ・京都大学
- ・京都先端科学大学
- ・同志社大学
- ・立命館大学



アフガニスタン

概況 貴重な文化財が残るイラン東部の国家。農業や牧畜等が産業の中心で、長く続く紛争・混乱状態が経済の発展を妨げている。日本は文化財保護に力を入れているほか、故中村哲医師の活動など民間団体による支援活動も行われている。イラン、トルコ、インドの3か国が主要留学先。¹⁾ 日本では独立行政法人国際協力機構 (JICA) が2011年以降留学生受け入れプログラムを行っている。

- 基本情報**²⁾
- ▶ 人口：2,916万人 (2016～2017)
 - ▶ 人口増加率：2.3%
 - ▶ 言語：ダリー語、パシュトゥー語、ハザラ語、タジク語
 - ▶ 宗教：イスラーム (主としてスンニ派、ハザラ人はシーア派)
 - ▶ 主要都市：カブール (381万人)
 - ▶ GDP 成長率：3.91%
 - ▶ 1人当たり GDP (名目)：507USD

日本への留学者数

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
留学者数	154	211	305	337	278	217	152

日本語教育の状況³⁾

カブール大学で非正規講座が開催されているのみであったが、2016年に廃止された。2018年度の日本語教育の実績はない (国際交流基金 2019)。

IB・英語教育の状況⁴⁾

IB認定校は存在しない。
6-3-3制の教育制度を取り、そのうち初等教育6年次から後期中等教育3年次で英語を学ぶ (国際交流基金2019)。

主要大学情報⁵⁾

世界大学ランキング (1000+) に位置する大学は存在しない。
主要大学としてはカブール大学。



1) 主要留学先に関する情報は、UNESCOによる統計 (<http://uis.unesco.org/en/uis-student-flow>) を参考にした。 2) 基本情報は、外務省ウェブサイト・世界銀行・Global Note (IMF 2019集計) のデータに基づき作成した。
3) 日本語教育・英語教育の状況については国際交流基金の2019年度の記述を参考に作成した。 4) IB認定校の状況はIB公式ウェブサイト (<https://www.ibo.org/>) 上の情報に基づく。
5) 主要大学情報は、Times High Education (<https://www.timeshighereducation.com/>) による2021年度世界大学ランキングにおいて1000+に位置している大学に、国際交流基金の2019年度の記述を参考にしながら、日本語教育が積極的に行われている大学およびその他の主要大学を追加して作成した。



アラブ首長国連邦

概況 石油産業を1つの中心とし、アブダビとドバイを2大首長国とする。また2020年にイスラエルと国交を正常化している。連邦政府によって非英語圏への留学が推進される傾向にあり、英語以外の言語としてすでに中国語とフランス語が導入された。日本留学を促進するため、一般財団法人日本国際協力センター(JICE)がアブダビに事務所を置いている。

- 基本情報**
- ▶ 人口：963万人(2018)
 - ▶ 人口増加率：1.4%
 - ▶ 言語：アラビア語
 - ▶ 宗教：イスラーム
 - ▶ 主要都市：アブダビ(52万人)、ドバイ(108万人)
 - ▶ GDP 成長率：1.68%
 - ▶ 1人当たり GDP(名目)：39180USD

日本への留学者数

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
留学者数	40	40	48	51	47	54	63

日本語教育の状況

日本語学習者は9機関406人。ハリーフア科学技術大学および2019年10月以降ザイド大学アブダビ校にて日本語教育が行われ、アブダビ首長国王立科学技術系高等学校(ATHSアブダビ)でも日本語教育の提供が開始された。また日本語教育を行う民間学校も存在している(国際交流基金 2019)。

IB・英語教育の状況

IB認定校は52校。
12年間の義務教育中全ての年次で英語が必修である(国際交流基金 2019)。

主要大学情報

アラブ首長国連邦大学、ハリーフア大学、シャルジャ大学、シャルジャアメリカン大学、ザイド大学、アブダビ大学





アルジェリア

概況 石油・天然ガス事業が主力産業。1990年代にテロ活動が活発化したが、現在では大きく改善。歴史的にフランスの影響が強く、留学先はほぼフランス。2019年に高等教育での第一言語を英語とする方針が発表され、留学先が多様化する可能性がある⁶⁾。

- 基本情報**
- ▶ 人口：4220万人(2018)
 - ▶ 人口増加率：1.9%
 - ▶ 言語：アラビア語、ベルベル語、フランス語
 - ▶ 宗教：イスラーム(スンニ派)
 - ▶ 主要都市：アルジェ(271万人)、オラン(116万人)
 - ▶ GDP 成長率：0.80%
 - ▶ 1人当たり GDP(名目)：3898USD

日本への留学者数

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
留学者数	25	27	28	31	29	26	26

日本語教育の状況

3機関105人。アルジェ第二大学において毎週土曜日に日本語講座が行われ、これらは一般公開されている。またその他地方の語学センターや私立学校でも一般向け講座が開かれている。

IB・英語教育の状況

IB認定校は1校。
英語については中学校2年生段階から必修である(国際交流基金 2019)。

主要大学情報

フェルア・アッバース・セティフ大学1、ビスクラ大学、ブリダ1大学、コンスタンティン大学1、ブルメデ・マハメド・ブーガール大学、フアリ・ブーメディアン科学技術大学、オラン・モハメド・ブーディアフ科学技術大学、トレムセン大学



⁶⁾ <https://www.al-fanarmedia.org/2019/09/algerias-minister-of-higher-education-encourages-switch-from-french-to-english/>



イエメン

概況 アラビア半島南西に位置する国家で、イスラームの影響の強い生活様式である。2015年以降、シーア派組織のフーシ派とサウジアラビアの支援する暫定政府の間で内戦が続き、その中で厳しい経済状況にある。サウジアラビアへの留学者数が多く、次いでマレーシアやUAEといったイスラーム圏が続く。

- 基本情報**
- ▶ 人口：2892万人(2018)
 - ▶ 人口増加率：2.3%
 - ▶ 言語：アラビア語
 - ▶ 宗教：イスラーム(スンニ派、ザイド派)
 - ▶ 主要都市：サヌア(197万人)
 - ▶ GDP 成長率：2.10%
 - ▶ 1人当たり GDP(名目)：713USD

日本への留学者数

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
留学者数	18	20	18	19	20	19	14

日本語教育の状況

日本語学習者の数は報告されていない。イエメン・日本友好協会が日本語講座を開設していたが、紛争激化に伴い閉鎖中である。

IB・英語教育の状況

IB認定校は存在しない。公立校では中学1年から必須のほか、私立校では幼稚園から英語教育を行うところも存在する。大学においても選択科目として英語が置かれている(国際交流基金 2019)。

主要大学情報

世界大学ランキング(1000+)に位置する大学は存在しない。サヌア大学が国立最高学府である。





イスラエル

概況 1948年に独立を宣言した。パレスチナとの衝突が続く中で、外交では欧米との協調を重視するほか、最近ではアメリカの仲介でUAEなど中東諸国と国交を正常化した。産業面ではハイテク・情報通信等の技術を要する産業を中心とする。教育面ではテルアビブ大学をはじめ高等教育水準が高く、近年は日本語学習に対する意欲・関心も高くなっている。

- 基本情報**
- ▶人口：923万人(2020)
 - ▶人口増加率：1.9%
 - ▶言語：ヘブライ語、アラビア語
 - ▶宗教：ユダヤ教(75.0%)、イスラーム(17.5%)、キリスト教(2%)、ドルーズ(1.6%)
 - ▶主要都市：イェルサレム、テルアビブ
 - ▶GDP 成長率：3.45%
 - ▶1人当たり GDP(名目)：43603USD

日本への留学者数

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
留学者数	28	28	34	34	43	41	39

日本語教育の状況

日本語学習者は9機関491人。イェルサレム・ヘブライ大学等6つの大学や3つの日本語講座が開かれている。2015年ごろから訪日客が増加するなど、日本語や日本文化への関心が高まっている(国際交流基金 2019)。

IB・英語教育の状況

IB認定校は3校。
中等教育(12~18歳)において英語教育が必須である(国際交流基金 2019)。

主要大学情報

テルアビブ大学、イェルサレム・ヘブライ大学、テクニオン・イスラエル工科大学、バーイラン大学、ハイファ大学、IDCヘルツリーヤ、アリエル大学、テル=ハイ・カレッジ、ネゲヴ・ベン=グリオン大学





イラク

概況 アッバース朝期に建てられた都市、バグダードを中心とする。豊富な石油資源を背景として国内歳入のほとんどを石油で賄っているが、石油依存を脱却すべく、政府は他産業の開発を進めようとしている。一方で依然として不安定な情勢もあり、現状ではインフラ整備が遅れている。ヨルダンやトルコなどのイスラーム圏諸国が主要な留学先。

- 基本情報**
- ▶ 人口：3887万人(2018)
 - ▶ 人口増加率：2.3%
 - ▶ 言語：アラビア語、クルド語
 - ▶ 宗教：イスラーム(シーア派、スンニ派)、キリスト教
 - ▶ 主要都市：バグダード(121万人)、モースル(138万人)、バスラ(122万人)
 - ▶ GDP 成長率：4.43%
 - ▶ 1人当たり GDP(名目)：5884USD

日本への留学者数

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
留学者数	11	14	15	17	15	21	27

日本語教育の状況

日本語学習者は2機関485人。2015年にバグダード大学が、文学部に国内初の日本語講座を設置したほか、私立キヤム小学校でも日本語教育が実施されている(国際交流基金 2019)。

IB・英語教育の状況

IB認定校は6校。
多くの高校、および大学において、外国語教育として英語教育が行われる(国際交流基金 2019)。

主要大学情報





イラン

概況 石油産業を主とし、シーア派が多数を占める国家。ペルシア文学や様々な史跡など、文化的・歴史的にも奥深い。近年では中東外交・情勢で重要な位置にある。留学先としては欧米諸国が主。日本に興味を持つ層も元々多いが、費用面・言語面のハードルの高さや日本との関係性、帰国後のフォローといった課題が示されている。

- 基本情報**
- ▶ 人口：8280万人(2019)
 - ▶ 人口増加率：1.4%
 - ▶ 言語：ペルシア語
 - ▶ 宗教：イスラーム(シーア派)、キリスト教、ゾロアスター教等
 - ▶ 主要都市：テヘラン(869万人)、マシュハド(300万人)、イスファハーン(196万人)
 - ▶ GDP 成長率：-6.51%
 - ▶ 1人当たり GDP(名目)：7010USD

日本への留学者数

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
留学者数	200	172	181	189	194	193	180

日本語教育の状況

日本語学習者は2機関215人。テヘラン大学に日本語学科が設置されており、近年は日本語学習機関・学習者の増加も見られる。日本語弁論大会も、質・量ともに盛り上がるなど、着実に発展している(国際交流基金 2019; 須藤 2019)。



IB・英語教育の状況

IB認定校は6校。中学1年生段階から英語が必修である(国際交流基金 2019)。

主要大学情報

クルディスタン医科大学、バボル・ノシルバニ工科大学、シャリフ工科大学、アミールカビール工科大学、イラン医療科学大学、イラン科学技術大学、カシャン大学、マシュハド医科大学、テヘラン大学、テヘラン医科大学、タブリーズ大学等



エジプト

概況 ピラミッド等の文化遺産を擁する、アラブ地域の中心的な国家。農業や工業のほか、観光業やスエズ運河渡航料も重要な収入源である。カイロ大学日本語学科の歴史は長い。また、2016年のEJEPの締結によって日本との教育における関係が深まっている。その中で、2018年以降はJICAの協力で、日本式教育を導入したエジプト日本学校が開講されている。

- 基本情報**
- ▶人口：約9842万人(2019)
 - ▶人口増加率：2.0%
 - ▶言語：アラビア語
 - ▶宗教：イスラーム(スンニ派)、キリスト教コプト派

- ▶主要都市：カイロ(954万人)、アレクサンドリア(516万人)
- ▶GDP 成長率：5.56%
- ▶1人当たり GDP(名目)：3044USD

日本への留学者数

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
留学者数	227	256	275	327	337	334	373

日本語教育の状況

日本語学習者の規模は中東地域で2番目に多い、21機関1602人である。合計6大学で日本語学科が設置されており、教育機関以外での日本語教育も行われている。また日本語教師養成講座も存在している(国際交流基金 2019)。

IB・英語教育の状況

IB認定校は33校。中学1年次から英語が必修であるほか、中産階級以上の子弟が通う私立学校は英語(あるいはフランス語、ドイツ語)での教育を売りとし、授業を一部外国語で行う(国際交流基金 2019)。

主要大学情報

アスワン大学、マンスーラ大学、スエズ運河大学、カイロ大学、カフル・アッシャイフ大学、カイロアメリカン大学、ベンハ大学、ベニ・スエフ大学、ソハグ大学、アイン・シャムス大学、アル・アズハル大学、アレクサンドリア大学、ミスル科学技術大学等





オマーン

概況 石油・天然ガスを中心として発展。近年では製造業の発展も始まり、その中で石油産業に依存しない経済を目指している。主な留学先はUAEや欧米諸国だが、先代国王の叔母が日本人の血を引いていることもあり親日的で、日本語の人気も高い。

- 基本情報**
- ▶ 人口：448万人(2020)
 - ▶ 人口増加率：3.0%
 - ▶ 言語：アラビア語、英語
 - ▶ 宗教：イスラーム(イバード派)
 - ▶ 主要都市：マスカット
 - ▶ GDP 成長率：-0.83%
 - ▶ 1人当たり GDP(名目)：18198USD

日本への留学者数

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
留学者数	13	18	22	15	18	15	20

日本語教育の状況

2機関75人が日本語学習をしている。国立スルタン・カブース大学に日本語講座が常設されているほか、オマーン・日本友好協会が一般向けに日本語教育を実施している。オマーンでの日本語教育の歴史は浅いが、受講希望者の数は多い(国際交流基金 2019)。

IB・英語教育の状況

IB認定校は7校。基礎教育(10年制)の初年度から英語教育が行われる(国際交流基金 2019)。

主要大学情報

スルタン・カブース大学





カタール

概況 急成長する首都ドーハを擁する。石油産業に依存しており、政府は他産業の育成を進めている。労働力を外国人に大きく依存しており、これを背景として英語も使用される。中東諸国と2017年に国交を断絶したが、2021年1月にUAEなど4か国と国交を正常化した。欧米や中東周辺国への留学が中心。

- 基本情報**
- ▶ 人口：280万人(2020)
 - ▶ 人口増加率：1.8%
 - ▶ 言語：アラビア語
 - ▶ 宗教：イスラーム
 - ▶ 主要都市：ドーハ
 - ▶ GDP 成長率：0.78%
 - ▶ 1人当たり GDP(名目)：62919USD

日本への留学者数

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
留学者数	2	8	16	17	15	15	15

日本語教育の状況

日本語学習者は5機関256人。教育機関においてはカタール大学に日本語講座が設置されており、またタリク・ブン・ズィヤード男子高校でも日本語教育が行われている。このほか、学校教育以外での日本語講座も開かれている(国際交流基金 2019)。

IB・英語教育の状況

IB認定校は16校。
外国語教育として主に英語教育が行われている(国際交流基金 2019)。

主要大学情報

カタール大学





クウェート

概況 石油産業を中心に発展した国家で、外国人労働者も多い。カタールと周辺国家の国交回復においては仲介者の役割も果たした。インターナショナルスクールも多く存在し、アメリカやイギリスのような英語圏への留学者が多い。

- 基本情報**
- ▶人口：475万人(2019)
 - ▶人口増加率：1.7%
 - ▶言語：アラビア語
 - ▶宗教：イスラーム
 - ▶主要都市：クウェート
 - ▶GDP 成長率：0.43%
 - ▶1人当たり GDP(名目)：28500USD

日本への留学者数

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
留学者数	6	4	4	7	9	11	15

日本語教育の状況

日本語学習者は5機関256人。教育機関での日本語カリキュラムこそ存在しないが、私立大学・私立語学学校やクウェート大学生涯学習センターが日本語講座を開催している(国際交流基金 2019)。

IB・英語教育の状況

IB認定校は4校。
小学校1年段階から英語教育が必須となっており、英語も広く普及している(国際交流基金 2019)。

主要大学情報

クウェート大学





サウジアラビア

概況 イスラームの両聖都を擁する。石油依存の産業構造であったが、これの脱却と経済の多様化を目指すビジョン2030によって近年様々な改革が行われている。2021年1月にカタールと国交を正常化した。キング・サウード大学は、湾岸諸国の日本語教育の中核的存在としての役割を期待されている。

- 基本情報**
- ▶ 人口：3370万人(2018)
 - ▶ 人口増加率：1.7%
 - ▶ 言語：アラビア語
 - ▶ 宗教：イスラーム
 - ▶ 主要都市：リヤド(518万人)、ジッダ(343万人)、メッカ(153万人)、メディナ(110万人)
 - ▶ GDP 成長率：0.33%
 - ▶ 1人当たり GDP(名目)：23266USD

日本への留学者数

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
留学者数	373	433	420	432	383	306	245

日本語教育の状況

日本語学習者は1機関60人。キング・サウード大学に日本語専攻課程が存在。文化的事情に伴う女性が教育機関で日本語学習をすることの困難さ、学習者の増加に対する教師不足が示されている。(国際交流基金 2019;米田 2019)⁹⁾。

IB・英語教育の状況

IB認定校は24校。近年の教育改革で英語教育に力が入られ、小学校4年生から英語教育が行われるほか、私立校の中にはより早期に英語教育を行う学校もある(国際交流基金 2019)また、文化的事情により、女性が教育機関で日本語教育を受けることが困難という課題がある(米田 2019)。

主要大学情報

キング・アブデュルアズィズ大学、アル・ファイサル大学、キング・サウード大学、キング・ファハド石油鉱物大学、キング・ハリード大学、イマーム・アブデュルラフマーン・ビン・ファイサル大学、キング・ファイサル大学等



9) <https://www.jpof.go.jp/j/project/japanese/teach/dispatch/voice/voice/chukintou/saudi/2019/report01.html>



シリア

概況 古くから人類が活動し、深い歴史と文化が根付く地に存在する国家。シリア内戦以降紛争状態が続き、最近では特にトルコとの関係性が注目される。トルコやドイツ等が主な留学先。日本ではJICAがシリア人難民留学生を受け入れている。

- 基本情報**
- ▶人口：1690万人(2018)
 - ▶人口増加率：1.0%
 - ▶言語：アラビア語
 - ▶宗教：イスラーム(スンニ派、シーア派、ドルーズ派)、キリスト教(10%)
 - ▶主要都市：ダマスカス(168万人)、アレッポ(445万人)
 - ▶GDP 成長率：4.80%
 - ▶1人当たり GDP(名目)：1194USD

日本への留学者数

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
留学者数	49	48	51	49	50	71	97

日本語教育の状況

2018年度において、日本語学習者の数は不明である。ダマスカス大学人文学部に日本語学科が設置されており、またアレッポ大学学術交流日本センターでも日本語教育が行われている。

IB・英語教育の状況

IB認定校は存在しない。2000年以降外国語教育が重視され、現在では初等教育1年段階から英語教育が始まる。高等教育では全ての大学に英文科が設置されている(国際交流基金 2019)。

主要大学情報

世界大学ランキング(1000+)に位置する大学は存在しない。主要大学としてはダマスカス大学、アレッポ大学。





チュニジア

概況 アラブの春の契機となったジャスミン革命を経て民主化。穏健で中立的な外交政策を行い、貿易面ではヨーロッパと深く関わる。フランス語圏に属することもあり、留学先はフランスなどヨーロッパが中心。日本語教育の環境はあまり整っていない。

- 基本情報**
- ▶ 人口：1169人(2019)
 - ▶ 人口増加率：1.1%
 - ▶ 言語：アラビア語、フランス語
 - ▶ 宗教：イスラーム(スンニ派)が主
 - ▶ 主要都市：チュニス(105万人)
 - ▶ GDP 成長率：0.98%
 - ▶ 1人当たり GDP(名目)：3293USD

日本への留学者数

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
留学者数	54	51	47	51	46	53	55

日本語教育の状況

4機関185人。カルタゴ大学ボルジュ・セドリヤ先端科学技術学院(ENSTAB)とエル・マナール大学で日本語講座が開講されているが、単位等は取得できない。一般向けにはブルギバ現代言語研究所と私立ビジネススクールで日本語講座がある。

IB・英語教育の状況

IB認定校は2校。基礎教育課程(9年制)の6年生時から英語教育が行われる(国際交流基金 2019)。

主要大学情報

カルタージュ大学、マヌーバ大学、モナスティル大学、スファックス大学、スース大学、チュニス・エル・マナール大学





トルコ

概況 様々な文化の要素を持ち、カッパドキアなどの観光地を擁する観光大国で、農業や工業も発展している。内政ではエルドアン政権下でイスラーム主義政策が取られ、外交では欧米との協調を基本とした平和外交路線を取る中で諸紛争への介入も見られる。親日国として知られ、アンカラ大学やエルジェス大学を筆頭に日本語教育を行う大学が多く存在し、文部科学省奨学金や大学のプログラムを利用して日本に留学する学生も多い。

- 基本情報**
- ▶ 人口：約8315万人(2019)
 - ▶ 人口増加率：1.3%
 - ▶ 言語：トルコ語
 - ▶ 宗教：イスラーム(スンニ派)及びアレヴィーが大部分、その他ギリシア正教、アルメニア正教
 - ▶ 主要都市：イスタンブル(1500万人)、アンカラ(540万人)、イズミル(428万人)、ブルサ(293万人)
 - ▶ GDP 成長率：0.92%
 - ▶ 1人当たり GDP(名目)：9151USD

日本への留学者数

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
留学者数	154	151	179	205	232	224	213

日本語教育の状況

34機関で2500人が日本語教育を受けており、中東地域随一の規模を誇る。親日感情が強く、ここ数年若い日本語ブームであるが、高等教育と比較して中等教育機関が少なく、独学が中心である(国際交流基金 2019;栗田 2019¹⁰⁾。

IB・英語教育の状況

IB認定校は87校。5歳半から始まる前期初等教育の段階から英語教育が開始される(国際交流基金 2019)。

主要大学情報

コチ大学、ハジエテペ大学、ビルケント大学、ボアズィチ大学、イスタンブル大学、イスタンブル工科大学、中東工科大学、アンカラ大学、チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学、エルジェス大学、ネブシエヒル・ハジユ・ベクタシュ・ヴェリ大学等



10) <https://www.jpfi.go.jp/j/project/japanese/teach/dispatch/voice/voice/chukintou/turkey/2019/report01.html>



バーレーン

概況 アラビア半島沿いにある島国で、日本とも友好的な関係を持つ。近年は石油産業からの脱却を目指し、産業の多角化と観光に力を入れている。2020年9月にイスラエルと国交を正常化した。留学先としては欧米諸国と近隣国家が中心だが、中には文部科学省の制度を用いて日本に留学する人も存在する。

- 基本情報**
- ▶人口：150.3万人(2018)
 - ▶人口増加率：4.5%
 - ▶言語：アラビア語
 - ▶宗教：イスラーム
 - ▶主要都市：マナーマ
 - ▶GDP 成長率：1.82%
 - ▶1人当たり GDP(名目)：25998USD

日本への留学者数

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
留学者数	6	8	8	7	8	11	10

日本語教育の状況

日本語学習者は2機関110人である。社会人対象の夜間市民講座が開講されているほか、教育機関ではバーレーン大学で日本語教育が行われている。

IB・英語教育の状況

IB認定校は13校。アラビア語に加えて英語も普及しており、6歳からの初等教育課程から英語が必修である(国際交流基金 2019)。

主要大学情報

世界大学ランキング(1000+)に位置する大学は存在しない。主要大学としてはバーレーン大学。





パレスチナ

概況 歴史的にイスラエルと対立。第二次インティファダ以降のイスラエルとの衝突の影響で、経済発展はほとんど進んでいない。留学先としてはヨルダン、トルコのような近隣諸国が目立つ。東アジアへの留学生は少数。

- 基本情報**
- ▶ 人口：497万人(2019)
 - ▶ 人口増加率：(不明)
 - ▶ 言語：アラビア語
 - ▶ 宗教：イスラーム(92%)、キリスト教(7%)、その他(1%)
 - ▶ 主要都市：ラマッラ
 - ▶ GDP 成長率：0.95%
 - ▶ 1人当たり GDP(名目)：3426USD

日本への留学者数

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
留学者数	17	15	14	24	26	24	26

日本語教育の状況

日本語教育の実施は確認されていない(国際交流基金 2019)。

IB・英語教育の状況

IB認定校は2校。
初等教育段階から英語が
必須科目となっている。

主要大学情報

世界大学ランキング(1000+)に位置する大学は存在しない。主要大学としては、ベツレヘム大学、ガザ・イスラーム大学。





モロッコ

概況 農業を基盤としつつ、工業化も進めている産業形態。モロッコ料理や青色の建物群があるシャウエン等、観光でも有名。歴史的なフランスの影響から、大部分がフランスに留学。一方で日本語の人気も高まっており、日本への留学が見込める。

- 基本情報**
- ▶人口：3603万人(2018)
 - ▶人口増加率：1.2%
 - ▶言語：アラビア語、ベルベル語、フランス語
 - ▶宗教：イスラーム(スンニ派)
 - ▶主要都市：ラバト(57万人)、カサブランカ(335万人)、フェズ(112万人)
 - ▶GDP 成長率：2.20%
 - ▶1人当たり GDP(名目)：3332USD

日本への留学者数

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
留学者数	35	39	47	52	92	93	68

日本語教育の状況

日本語学習者は7機関547人。複数の大学の公開講座あるいは私立学校で開講されている。学習者の多さに対して大学側の主体性が低く、JICA等の機関に依存しがちであることも指摘されている(国際交流基金 2019; 飯尾 2019)。

IB・英語教育の状況

IB認定校は14校。フランス語に次ぐ第二外国語として英語教育が行われている。私立学校の多くでは小学校段階から英語教育が行われ、公立校でも中学校から英語教育が行われる(国際交流基金 2019)。

主要大学情報

シディ・モハメド・アブデュラー大学、アサン2世・ド・カサブランカ大学、イブントファイル大学、マラケシュ・カディ・アイヤド大学、ラバト・ムハンマド5世大学





ヨルダン

概況 イスラエル等に囲まれ、死海を筆頭に観光産業が盛ん。周辺地域の難民を多数受け入れているが、これによる財政負担の増大が近年課題となっている。留学先は主に中東諸国や欧米諸国。日本語学習者の学習意欲は高い。

- 基本情報**
- ▶人口：995.6万人(2018)
 - ▶人口増加率：1.5%
 - ▶言語：アラビア語
 - ▶宗教：イスラーム(93%)、キリスト教(7%)
 - ▶主要都市：アンマン(372万人)
 - ▶GDP 成長率：1.96%
 - ▶1人当たり GDP(名目)：4426USD

日本への留学者数

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
留学者数	25	23	25	25	24	28	29

日本語教育の状況

2機関250人が日本語を学習している。ヨルダン大学とハシミテ大学に日本語コースが設置されているほか、一般向けの講座も開講されている。

IB・英語教育の状況

IB認定校は21校。英国委任統治領であった歴史から、英語の地位が高く、小学校1年生段階から英語が必修科目である(国際交流基金 2019)。

主要大学情報

ヨルダン科学技術大学、アル・バルカ応用大学、ヨルダン大学、ハシミテ大学、ヤルムーク大学





リビア

概況 2011年のカダフィ政権崩壊後、内戦が勃発。周辺諸国の介入もあり混乱状態が続いたが2020年10月に恒久停戦の合意がなされた。経済状況も内戦の影響を受けている。留学者はトルコやマレーシア、欧米諸国など。外国語教育に関する情報は少ない。

- 基本情報**
- ▶ 人口：668万人(2018)
 - ▶ 人口増加率：1.5%
 - ▶ 言語：アラビア語
 - ▶ 宗教：イスラーム(スンニ派)
 - ▶ 主要都市：トリポリ
 - ▶ GDP 成長率：9.89%
 - ▶ 1人当たり GDP(名目)：6055USD

日本への留学者数

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
留学者数	11	12	11	10	8	4	3

日本語教育の状況

日本語教育の実施は確認されていない(国際交流基金2019)。

IB・英語教育の状況

IB認定校は存在しない。

主要大学情報

世界大学ランキング(1000+)に位置する大学は存在しない。主要大学としてはトリポリ大学。





レバノン

概況 イスラーム諸宗派やキリスト教マロン派など18宗派が存在。政治・経済両面で旧宗主国フランスとの関係が強い。経済面は、2019年の反政府デモ以降悪化し、2020年8月のベイルート爆発の影響も大きい。政情も不安定な状況が続いている。留学先としてはフランスが圧倒的に多く、次いで欧米諸国が続く。

- 基本情報**
- ▶ 人口：610万人(2018)
 - ▶ 人口増加率：0.1%
 - ▶ 言語：アラビア語(フランス語、英語)
 - ▶ 宗教：キリスト教、イスラーム(計18宗派)
 - ▶ 主要都市：ベイルート
 - ▶ GDP 成長率：-6.80%
 - ▶ 1人当たり GDP(名目)：7661USD

日本への留学者数

年度	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
留学者数	13	11	16	18	16	17	22

日本語教育の状況

2機関35人。サンジョセフ大学に日本語講座が開設されており、同講座は一般向けにも開放されている(国際交流基金 2019)。

IB・英語教育の状況

IB認定校は21校。都市部で英語やフランス語が用いられるが、教育状況は学校によって異なる(国際交流基金 2019)。

主要大学情報

レバノンアメリカン大学、ベイルート・サンジョセフ大学、レバノン大学、ベイルート・アメリカン大学



J-MENA事業 イベントスケジュール

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
オンラインフェア (Beginプラットフォーム)		オンラインフェア (5-2月・5-6回程度)										
オンラインフェア (J-MENA主催)							学部対象 (10月)					
								大学院対象 (11月)				
アカデミックセミナー		アカデミックセミナー“再生可能エネルギー” (5-2月・5-6回程度)										
		コンピュータサイエンス (6-3月・3-4回)										
		人文・社会科学 (6-3月・1-2回)										
キャリアセミナー		卒業生・修了生によるキャリアセミナー (5-1月・隔月)										
動画・SNSによる 情報発信		動画撮影 (5-1月)										
		SNS原稿募集 (4-2月)										
奨学金制度 説明会		奨学金制度説明会① 6月			奨学金制度説明会② EJEP 9月							

制作：九州大学J-MENAオフィス

制作・編集協力：九州大学 岩倉 一澄(人文科学府修士課程)

日本留学海外拠点連携推進事業
(中東・北アフリカ地域)

九州大学 J-MENA オフィス

電話 ▶ 092-802-2225 FAX ▶ 092-802-2286
E-mail ▶ info-jmena@jimu.kyushu-u.ac.jp

